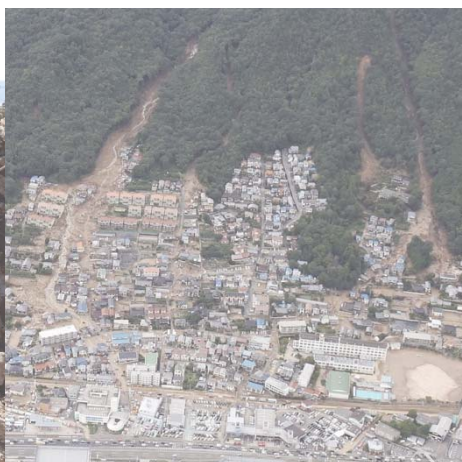


一般社団法人 日本応用地質学会 広島災害調査団 報告会

平成 26 年広島土砂災害に学ぶ － 土地の成り立ちを知り、土砂災害から身を守る －

平成 26 年 8 月 20 日に発生した甚大な人的被害をともしう土砂災害について、日本応用地質学会は調査団を組織し、継続的に現地調査を行ってきました。その調査結果をまとめ、一般の市民の方を対象にした報告会を災害から半年を迎える 2 月 21 日に開催致します。

応用地質学は、自然と人間との関わりの中で起こる社会的問題に答えることを使命としております。その視点から今回の災害を捉え、本報告会では、将来に向けてどのように「身を守る」のかを一緒に考えていきます。多数の参加をお待ちしております。なお会場の一角では、災害に関する様々な地図やボーリングコア、現地の岩石などの展示も行います。



日 時：平成 27 年 2 月 21 日（土）13:00-17:00

場 所：広島県立総合体育館（広島グリーンアリーナ）

地下 1 F 大会議室（広島市中区基町 4-1）

定 員：120 名 CPD：3.5 ポイント

参加費：無料

事前申し込み：必要（平成 27 年 2 月 10 日締切）



申し込みは日本応用地質学会事務局（Fax: 03-3259-8233、E-mail: office@jseg.or.jp）またはジオ・スクーリングネット（<https://www.geo-schooling.jp/>）まで、メールか Fax でお申し込みください。（プログラム、申し込み用紙は裏面をごらん下さい）

主 催：一般社団法人日本応用地質学会

共 催：日本応用地質学会中国四国支部、日本応用地質学会災害地質研究部会

後 援：国土交通省、広島県、広島市

協 賛：中国地質調査業協会

広島災害調査団 報告会

平成 26 年広島土砂災害に学ぶ -土地の成り立ちを知り、土砂災害から身を守る-

開会	13:00 - 13:10	(司会) 井口 隆 (防災科学技術研究所)
第一部 講演	13:10 - 16:05 (休憩あり)	
1. 広島災害を受け応用地質学会は何を課題とするのか	千木良 雅弘 (京都大学防災研究所)	
2. 雨の降り方と土砂災害の発生との関係について	中井 真司 (復建調査設計)	
3. 土石流の実像に迫る-発生から停止までの挙動を知る-	横山 俊治 (高知大学)	
4. 地質の違いから見た土石流の個性と被災状況	曾我部 淳 (中電技術コンサルタント)	
5. 災害文化の伝承から学べること-八木地区に残る伝説から-	小笠原 洋 (復建調査設計)	
6. 広島市の地形の成り立ちと土砂災害のリスク	小林 浩 (朝日航洋)	
7. 広島市の都市開発の歴史と災害リスクの変遷	加藤 弘徳 (荒谷建設コンサルタント)	
8. 宅地開発に関わる法規制と運用の問題点	釜井 俊孝 (京都大学防災研究所)	
第二部 総合討論	16:20 - 16:55	(司会) 井口 隆 (防災科学技術研究所)
講演を踏まえて、土砂災害から「身を守る」をテーマとして質疑・討論を進めます。		
閉会挨拶	16:55 - 17:00	日本応用地質学会会長 長谷川修一 (香川大学)

広島災害調査団報告会 参加申込書

申込先 (問い合わせ先も同じ)	(社) 日本応用地質学会事務局
FAX : 03-3259-8233	E-mail: office@jseg.or.jp

日時 : 平成 27 年 2 月 21 日 (土) 13:00-17:00

会場 : 広島県立総合体育館 (広島グリーンアリーナ) 地下 1F 大会議室

■企業名／団体名	
■TEL	■E-mail (代表者)
■参加者氏名	■参加者氏名
■参加者氏名	■参加者氏名

* 上記個人情報、当報告会事務局内での事務処理、参加者への返信・連絡に限り利用いたします。

* E-mail で申し込まれる場合は、メールタイトルを「広島災害調査団報告会参加申込」とした上で、上記事項を本文に記入し、送信してください。

申し込み締切は 2 月 10 日 (火) ですが、定員に達し次第、締め切らせていただきますので、お早めに申し込み下さい。